

これからの議会のあり方を考える

智頭町 町民と議会との シンポジウム

議会の役割や活動と、議員報酬のあり方、そして、さらなる活動の充実などを語りながら、一緒に智頭町の未来を考えてみませんか。

日時

2月23日(火・祝) 13:30~

場所

智頭町総合センター(大集会室)

コーディネーター：えとう としあき江藤俊昭氏(山梨学院大学教授)

入場無料

先着100名限定

※100名を超えた場合は、智頭町総合センターロビーで、会場の様子をライブ中継しますので、そちらでご視聴ください。

※新型コロナウイルス感染予防のため、参加の際には、マスクの着用や受付での検温、受付表の記入にご協力をお願いします。



江藤俊昭氏 プロフィール

山梨学院大学法学部政治行政学科・大学院社会科学研究科教授。1956年東京都生まれ。1979年中央大学法学部卒業。1986年中央大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学。博士(政治学:中央大学)鳥取県智頭町行財政改革審議会会長、三重県議会議会改革諮問会議会長、第29次・第30次地方制度調査会委員、総務省「町村議会のあり方に関する研究会」委員、全国町村議会議長会「報酬等に関する研究会」委員長等を歴任。

現在、マニフェスト大賞審査委員、議会サポーター・アドバイザー、地方自治研究機構評議委員。

主な著書:『自治体議会議員が知っておくべき政策財務の基礎知識』(共編、第一法規、2021年)、『非常事態・緊急事態と議会・議員』(共著、公人の友社、2020年)等